

The 102nd GREEN Seminar



ナノ材料の持つ空間場に 制御される新奇分子科学/

Molecular Science Controlled in
Nanospaces of Nanomaterials

Chair: Dr. Yoshitaka Tateyama(GREEN)

大場友則准教授/Assoc. Prof. Tomonori Ohba

(千葉大学大学院理学研究院/Chiba University)

ナノサイズの空間、ナノ空間では制限されたサイズと強いポテンシャル場により、吸着される分子が特異な構造形成や挙動、反応性を示すことが知られている。その中で特にナノ材料では、界面化学構造が分子の挙動に大きく影響を及ぼす。

本セミナーでは、ナノ材料が持つ異なるサイズのナノ空間に吸着された分子がナノ空間サイズに応じて特異な分子構造を形成することや、構造安定性の変化について紹介する。また、触媒材料のナノサイズ化やナノ空間中での触媒合成によっても、活性の向上がみられている。この主たる原因は活性構造の触媒が合成される点だけでなく、ナノ空間中に反応分子が凝縮しやすくなることも大きく寄与していると考えられており、新奇な分子制御・化学反応を可能にする上で重要な知見となる。これらナノ空間中の分子挙動・反応性についても、本セミナーで紹介する。

Venue: 1st Conference Room, Central Building., Sengen-site

Date: Friday, March 22th, 2024

Time: 11:00-12:00

Language: Japanese (日本語)

Contact: SHINOHARA.Yoshikazu@nims.go.jp